

丹後はぐくみネットワーク通信

丹後教育局 第8号

平成24年1月11日

TEL0772-22-2175

FAX 0772-22-0479

HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-k/cms/>

「地域の力を活かした
はぐくみの環境づくり」
を進めています。

子どもたちを包み込むはぐくみの環境づくり

地域子育てリーダー研修会

「体験活動の場」を「子どもたちをはぐくむ場」に、そして、
「子どもたちの心の居場所」にしたい、と考えています。

平成23年12月2日(金)に「地域子育てリーダー研修会」を実施しました。

「京のまなび教室」関係者、公民館関係者、地域ボランティア、青少年健全育成担当者、体育指導員等、体験活動を通して子どもたちをはぐくもうと取り組んでおられる皆さんが参加され、積極的に研修されました。

京都教育大学 教授 坂東 忠司 先生

「自然から学ぶ

～みんな違って一緒がいい～

- 小さい頃から、いろんな人に出会って、いろんなことを感じて「心を大きく揺らす体験を重ねていくこと」が大人になって「困難を乗り越える力」につながる。
- 子どもの自由発想を大人の配慮から止めていないか。子ども自身が考えることが大切であり、大人はそれを「待つ」ことが大切である。
- 体験を通して大人は知識を求めがちだが、子どもの間違っただけも否定せず、まず、子どもの「気付き」を促すことを大事にしたい。



意識して見つめると
見えてくる

与謝野町立三河内小学校
指導教諭 土井 豊 先生
「地域活動で学んだこと」

- 「教えたらなんなん」と思うとき、主体は自分にある。活動の主体は子どもにある。
- 指導者の「こうしなさい」より子どもの「こうしたいな」を認めて助言する方が子どもが伸びることがある。
- 「あかん」と思われることも見方を変えると「けっこうがんばってるじゃん」となる。

グループ協議

「子ども同士の関係づくりや大人のかかわり方」

- 意識してものを見ること、子どもの行動を待つこと(大人は我慢)など、なかなかできないですが少しずつがんばってみようと思います。
- 「居場所」「自信」子どもを育てるために大切だなあと改めて感じました。(受講者の感想より)



伊根町立伊根図書館からお薦めの
本を紹介していただきました。



伊根町立本庄図書館から

お薦めの本を紹介していただきました。

シリーズ PTA読書ナビ

～PTA読書を広げるためのナビゲーション～

コバンザメのぼうけん 灰谷健次郎 作 (童心社)



コバンザメが自分の視野の狭いことに気づき外界へ飛び出すことの勇気に共感する。

小さな町に住み、周りの皆さんに温かく見守られて何も不自由なく毎日を送る中で成長していく児童・生徒に「世間(せけん)」という言葉を教えてくれる一冊です。

あとかくしの雪 (佼成出版社)

谷 真介 : 文 赤坂 三好 : 絵

たろうこおろぎ 今西 祐行 : 著 遠藤てるよ : 絵

じごくのそうべえ 田島 征彦 作 (童心社)



かるわざしのそうべいが、じごくへおとされる。そこで出会った3人の仲間と共に、それぞれの自分の特技(長所)を生かし、仲間と信じ合い悠々と振る舞い、じごくの中を謳歌しつつ、ついに生還するというおもしろいお話です。

このダイナミックな絵とユニークな関西弁も、もう一つの楽しさです。

「バッテリー」全6巻 (教育画劇) あさの あつこ : 作

「走れT校 バasket部」全5巻 (彩雲出版)

松崎 洋 : 作

PTAで取り組んだ読書活動の実践を募集しています。
(詳しくは丹後教育局ホームページを御覧ください。)

次回は与謝野町立図書館から紹介していただきます。